

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがおねっと大和田(放デイ)		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して通えるという意見も多いので、学校や家以外での児童の居場所として役立っている。	児童や保護者の日々の課題や問題にも寄り添っていけるようにスタッフ全員がコミュニケーションを大事にしています。焦らず、児童が自分らしさをだしていけるよう、日々の児童との会話の中でしてみたいことや、好きなことなども取組みに反映することもあります。	一人一人の課題や成長ペースは違うので、小学生から高校生までである程度取り組みやすい内容を考えていきたい。
2	活動内容は毎回違う内容を取り入れている。	職員全体で意見を出し合って決めています。児童のその時その時のブームや、子どもたちが興味をもって「やりたい」「やってみようかな」と思えるような案をチームで出し合いながら取り組んでいます。	興味のある活動の中に、日常生活の支援にもつながる活動をより取り入れていく。(お買い物、時間やスケジュールに意識が向くような活動内容など)
3	小学生から高校生まで、支援学校から地域の小学校まで幅広い児童同士の関わりが多い。	スタッフのサポートだけでなく、児童同士の協力や、助け合いが起きる環境も作っていくように意識し、料理教室ではみんなで作る経験、外出支援では児童同士と一緒に歩く、体験するなど機会がしやすい環境作りに気を付けています。	地域交流や、社会参加への活動をより増やしていくことで、児童たちの経験の場を増やしていけるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者も参加できる催しが少ない。	事業所側での企画がないため、保護者へのお知らせができていない。	児童や保護者が参加しやすい内容を企画し、お知らせとして配布する。内容では地域の方にもお知らせしたり気軽に立ち寄れる状況が良い。
2	普通の事業所での児童の様子が、ブログだけでは見えずらい。	取り組む活動の目的や内容が伝わり切っていない可能性であったり、利用者がみやすいSNSや内容の工夫で不十分があるかもしれない。	利用者が目にしやすいSNSや、関心が高くなる内容をより取り入れていけるよう企画していく。
3	地域交流や保護者同士の関わりがない。	地域の環境を巻き込んだイベントが企画できていない。	事業所のまわりとの関りや、積極的に地域交流の場に参加しながら社会資源をより活用していけるようにする。